

2016J2

■順位表■第7節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	C大阪	19p	+7	10	3	
2	町田	16p	+6	9	3	
3	札幌	13p	+6	11	5	H●
4	讃岐	13p	+2	11	9	A●
5	千葉	13p	+2	7	5	
	熊本	13p	+2	7	5	
7	岡山	12p	+3	11	8	
8	岐阜	12p	-2	10	12	---
9	清水	11p	+2	6	4	
10	山口	11p	-1	8	9	
11	横浜FC	10p	+3	8	5	
12	京都	10p	0	9	9	
13	愛媛	10p	-1	6	7	AO
14	松本	9p	+1	7	6	
15	東京V	8p	-1	4	5	
16	群馬	7p	+1	7	6	A●
17	長崎	7p	-4	5	9	
18	水戸	5p	-2	3	5	HO
19	徳島	4p	-5	6	11	AO
20	北九州	4p	-8	3	11	HO
21	金沢	2p	-5	6	11	
22	山形	2p	-5	5	10	

次回HomeGame

第10節 vs.レノファ山口
4/29 (金・祝) 14:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : 松本山雅

2015 J1 7勝7分20敗 勝ち点28:第16位(年間通算)

直近の対決と結果

2014/11/15
J2-41節@長良川
岐阜 3-1 松本
難波宏明、ナザリト、宮沢正史 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		松本山雅	
2016/04/09	J2-07節@ピカスタ 讃岐 3-2 岐阜	2016/04/09	J2-07節@松本 松本 1-0 徳島
2016/04/03	J2-06節@ボカスタ 徳島 1-3 岐阜	2016/04/03	J2-06節@長崎県立 長崎 1-1 松本
2016/03/26	J2-05節@長良川 岐阜 1-0 水戸	2016/03/26	J2-05節@松本 松本 3-3 山口

●開幕2連敗の後、2連勝して迎えた3/26(日)第5節・ホーム水戸戦では、交代枠を使い切った後に#15 田森大己が負傷退場して10人になったものの、PKで奪った1点を最後まで守り向いて1-0で勝利することができたFC岐阜。続く4/3(日)第6節・アウェイ徳島戦は、水戸戦で負傷した#15 田森、#30 田代雅也を欠いての試合で不安視されたが、先制されたもののすぐに追いつき、さらには逆転。結局は3-1と、替わりに入った選手たちがしっかりと結果を出してクラブ史上、2009年シーズン以来2度目となる4連勝を達成した。そして4/9(土)第7節・アウェイ讃岐戦はクラブ史上初の5連勝が懸かった試合となったが、試合の流れを掴めず2失点を許したが、その後に怒濤の反撃をみせて2得点。しかし逆転を目指して猛攻を続けたロスタイムにミスから失点し、2-3で敗戦。惜しくも5連勝は達成できなかったが、堅守の讃岐相手に2点を奪えたことは、次に繋がる試合だったと言えるだろう。これら3試合の結果、現在のFC岐阜の順位は8位となった。これはJ2が22チームになった2012年以降では、2014年シーズンの10位を越えて7節経過時点での過去最高の成績だ。とは言え、手放して喜んで良い成績という訳でもない。これまで勝利した対戦相手は、現在13位および18~20位の4チームなのだ。一方、敗北した相手は3位・4位そして16位。下位のチームから着実に勝ち点を奪えていると評価することも出来るが、上位のチームからも勝ち点を積み上げることが重要だ。まだシーズンは全42試合の1/6を消化したばかり。いまだJ2は混戦模様で、3位から17位までが勝ち点6差内にひしめいている状況だ。今後も、目の前の1試合に集中して着実に勝ち点を積み上げ続けることが求められるだろう。

さて、今節の対戦相手は現在14位の松本山雅FC。現時点では岐阜よりも下位のチームではあるが、昨シーズンの松本はJ1クラブ。潜在的な力は充分にある。それに岐阜との勝ち点差は3と、この1試合で追いつける位置にあり、この一戦に懸ける気持ちは強いだろう。一方の岐阜も前節・讃岐戦の悔しい敗北を無駄にしないためにも、ホームで連敗は許されない。両チームの気迫がぶつかる、激しい試合になることだろう。松本との通算対戦成績は、岐阜の2勝4敗、6得点7失点。負け越してはいるが、直前の対戦(2014年第41節)では、3-1で勝利している。その時の得点者である#24 難波宏明には、今季初ゴールを期待したいし、ここ2試合で3得点の活躍を見せている#29 鈴木ブルーノにも期待が高まる。また、#19 益山司にとって松本は2012年に在籍していたチーム、普段以上に活躍して欲しいところだ。一方の松本では、ここ2試合で2ゴールを決めている#23 工藤浩平が要注意選手だ。また、松本はセットプレーからの得点を得意とするチームなので、ベテラン#3 田中隼磨や、今季山形から加入した#15 宮阪政樹から放たれるボールは驚異となるだろう。岐阜も松本も、シンプルにボールを縦に出すサッカーを目指すと思われ、最後まで走り続ける精神的にも肉体的にもタフな試合になるだろう。

また松本は、J2有数の大量のサポーター動員力で知られている。隣県ということもあり、今節はアウェイ自由席が完売。松本サポーターが大挙してメモリアルに駆け付け、チームに声援を送ることだろう。しかし、同じ“緑”をチームカラーとしている彼らに「ホームジャック」をさせる訳にはいかない。僕らFC岐阜サポーターも、彼らに負けじと大きな声援を、ホームスタジアムとしての声援を、選手たちに送ろう。そして試合終了後には、ホーム3連勝の歓喜をみんなで分かち合おう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
アドレスが変わりました
gidaidohri@gmail.com

【第5節】岐阜 1-0 水戸

●今季初の「アニ×サカ」コラボマッチとなった水戸戦。スタジアムでは様々なイベントが開催されて、2連勝してる気持ちのゆとり(笑)もあって、試合開始前に既に何となくお腹一杯満足感もあった(苦笑)んですが、それでも3連勝の懸かった一戦。連勝してるんだからスタメンは当然変わらず。そして、今節も守備が機能している…なんて言ったらいいのかしら、こんなに「何試合も安定して守備が機能している」FC岐阜を見るのは、とつても久しぶりな…いや、ひよっとしたら今までで一番安定しているんじゃないのかしら？いつの間、こんなに力強いサッカーが出来るようになったんだ…などと感慨にふけてしまっていたことを告白します(笑)。PKを#33レオミネイロがきっちり決めてくれて、前半は安定した展開で1-0。このまま後半もいけるかも？と思っていたんだけど、やはりサッカーはそう甘くない。両チームとも交替カードを切り出してから(それとも#30田代が負傷した頃から?)、徐々に形勢は水戸に。そして最後の3枚目に#4岡根を投入して「5バックにしてこのまま逃げ切れ」っていう、まだ残り15分もあるっていうのに、ずいぶん大胆な策を(苦笑)…って思ったら、「…おいおい、#15田森がおかしいぞ!? (汗)」脚を引きずって、もうアンカーの役割は果たせないから最前列に…しばらく無理してたけれど、やっぱりピッチを去ることに。1人少なくなって、もうウチには「守りきる」っていうチーム戦術しかなくなったんだけど、それが逆に奏功したかなと思う。パワープレイに入った水戸の攻撃を、我慢強く粘り強く跳ね返し続ける岐阜。いやー、こういう試合展開はシビれますけれど、寿命がホント縮みます(苦笑)。そして、この長い長い時間に思えた我慢比べを制して、試合終了の笛を聞いた時の安堵感といったら!…なお、ロスタイムに突入してから、ゴール裏が「アイダ」を歌い出したのは、オフサイドの笛を試合終了と勘違いして倒れ込んだ#17野垣内俊にダメされたからです(苦笑)。これで3連勝。キーマンが負傷してしまったのは痛いけれど、守りきるという戦術を選択して完遂できた意味は大きいと思う。選手たちにも自信になるだろう。

あと、今回の「アニ×サカ」に向けて、#21高木義成のピッチ外での貢献というか、選手からの情報発信力たるや…いやホント、名古屋で榎崎正剛という偉大なGKの影にしながら愛されてたのが納得です。これからも頼みますよ!(ささたく)

●長く、とてつもなく長く感じたアディショナル・タイム。世界で一番長い4分が過ぎて、ようやく訪れた勝利の瞬間。三試合連続の完封勝利! そりゃ、開幕2試合で随分と御賽銭を振るまっておいた御利益が出てるんだよと、したり顔で仲間に話したりもしたが自然と湧き上がる喜びは隠せない。まあ、隠す必要もないけどね。それにしても、三試合連続完封勝利はクラブ史上初ではないか? だいたい、3月に勝ち越すこと自体が珍しい。特に調べも確認もしないまま、そう思い込んでいた。たぶん、そうだろう。ウチにそんな実績あるワケない、と。でも、それを調べた仲間がいて、三連続完封は行徳さんの時にもあったらしい。ただ、その時の三連続完封はスコアレスドローも含めてとのこと。そうだろうなあ、と思ったら、なんとリーグ戦であったのだ。三連続完封勝利が……。それも、事もあろうに昨季の話だ。それは8月末からの出来事。残留争い直接対決の栃木戦から雷のせいでの代替開催となった群馬戦。そして、長良川での北九州。全て1-0での三連勝が……。すいませんでした! と土下座しなければならぬレベル。でもねえ、昨季は勝ったと言ってもオウン・ゴールの活躍があつたことだし、間に天皇杯を二試合挟んで、二試合目に負けてるし。三連続完封勝利と記憶してなくてもしょうがない、ですよ?

しかし、息苦しい試合だった。全体的には水戸のペース。決勝点となったレオミのPK。バイシクルを狙いに行ったレオミを手で倒した。反対側のゴールだったけど、一連の流れは見ていたので、「PKだ!」ととっさに思ったし、主審の手

の動きからそれを確信したのだけれど、録画を見てみると、多分にラッキーだったとも思える。そして、毎度のことながら交替の早さに「リードしてるんだから、向こうの動きを見てからにしようよ。」とやきもきしていたせいもあって、田森の負傷退場からがホントに長く感じられた。20分くらいは10人で戦っていたような気がしたが、実際はアディショナル・タイムを含めて10分ちょっと。そんな中、まだ残り時間もあるうちから「アイダ」が始まって、「おおっ! すご〜なあ〜!! 勝ち切れてメッセージか?」と感動したけど、実はオフサイドの笛を終了と勘違いしたという話も流れてきた。しかし、ピッチで戦ってる選手にも勘違いしたのが何人かいたようなのでしかたがない。勝ったからすべてよし。いや、細かいところを突っ込めば、いろいろあるんだけど、開幕からの二試合があるので許せてしまう。それだけ、あの二試合はトラウマになっているワケで。なにしろ、三連勝でトータル戦績も勝ち越しなのに、未だに得失点差がマイナスだもんね(苦笑)。でも、まあ、得失点差なんて飾りですよ。次も勝てばいいんです。よろしくお願いしますね!

最後に、ゴール裏へ来て「アニ×サカ」を盛り上げてくれたヨシナリの粋な計らいに、心からの感謝と敬意を表します。ありがとうございます!(ぐん)

【第6節】徳島 1-3 岐阜

●3連勝したものの、アンカーの#15田森そしてCB#30田代が負傷してしまった水戸戦。そして徳島・ポカスタは(愛媛・ニンスタほどではないけれど)負けてばかりで相性がよくないスタジアム。ここは替わりに入る選手の活躍が問われる…と思いつながら知るスタメンは…えっ、#27苅部がDFで#4岡根がMF!? それって逆じゃないの? それとも3バック? それとも情報戦で相手を混乱させるつもり?…などと、試合開始前に僕の方が混乱してました(苦笑)。

で、ホントに岡根がアンカーでビックリして…ホントに機能してるから(失礼ながら)2度ビックリ。こうしてみると、このシステムの肝は、実はアンカーじゃなくて、その周りを動き回る#14風間宏矢や#28水野泰輔じゃないのかしら…などと思った。CKからのこぼれ球を押し込まれて先制を許してしまったけれど、直後にこちらも#14宏矢のFKを#27苅部が頭で合わせて同点に追いつくと、再び岐阜のペースに。そして…#17野垣内の股抜き→#6高地→#33レオのヒール→#6高地のヒール→#17野垣内が切り込む→#29ブルーノが決める…って、なにその超お洒落に相手の守備を崩してのゴールは!(笑)2010年に見せた“10秒バルサ”を超える(と僕は思う)、連携での本当に見事なゴールでした。あのゴールでビール3杯はイける…などという表現が使われたりしますが、今回ホントに飲みました(笑)。相手がイエロー2枚で1人退場になって、トドメの3点目を#14宏矢が決めて勝負あり。実に力強い、試合運びでした。いつからウチはこんな試合が出来るようになったんだろう(苦笑)。そうそう、#33レオの最初のシュートに、僕は衝撃を隠せませんでした(笑)。「レオが、レオが左足で蹴った!」的な、やっぱりチーム状態が良いと、選手たちも進化していくんだなあ。そして4連勝、そして5位って…こんな時、どんな顔をして良いのか僕はわかりません(苦笑)。

一方で、徳島の低迷はどうしたことなのかな。余所のチーム事情に詳しい訳じゃないけれど、一昨年はJ1に昇格して即降格→昨年は無理なチーム編成→そのツケが今年に響いている…ということなのかな。無理をし過ぎてJ1を目指すという場合の、一つの結果かもしれない。(今だから言えるけれど)無理をしてJを目指して、長く苦しんできたクラブを見てきた僕としては、今の順位に浮かれることなく、しっかりと足元を見てシーズンを戦い抜けたらいいなあと思います。もちろん、優勝なんかできたりしたら、手放して最高に嬉しいけれどね(笑)。

(ささたく)

●鳴門での両目が、ようやく開いた。J参入初年度に小島宏美のゴールで勝って以来の2勝目。なんというか、終始圧倒？ 気味でウチの試合じゃないみたいだったよ（苦笑）。徳島相手にポカスタでこういう試合が見られるとはね。そして、四国でのシーズン2勝は初めてだ。愛媛も徳島も屋根を付けなきゃこんなことにはならなかったかも？ それから、苺部もブルーノも初ゴール、おめでとう！ ことに、苺部は結果が出てよかった。実況とかじゃブルーノの初ゴールと言うけど、苺部のには言及しないからさ。ボクが知らないうちに決めてたのか？ と心配になった。どうせなら、もう一本チャンスも決めときゃよかったのに。本職のボランチではなくCBでの出場だったけど正直、徳島もオイオイ……な出来だったようにも見えたから、CBとしての評価は保留。試合全体としても、ボールの支配率は大きく上回ったと思うけど、それでも先制されたり、10人になった徳島にあわや、の場面も作られたからね。本当にポスト様々だ。でも、それがサッカー。勝ち切れたのは大きいね。ただ、やっぱりあの交替枠の使い方には慣れないなあ。選手のコンディションを考えると経験値を積ませるため、それが狙いなのかな？ とは思うけれども、どうなんだろうね。いささか、気にはなるけれども、この経験がこれからの試合に生きてくることだけを切に願うとしよう。さて、久しぶりの4連勝！ 4連勝したからには5連勝を期待したい。そうなりゃ、得失点差もプラスになるでしょ（笑）。スケジュールが発表された時は「なんと、3週間の内に四国が全部！？」と思ったけど、今の勢いなら四国完全制覇も出来そう。日程くん、グッジョブ！ ……と言えるようになったらいいね。そうなってほしいと願っています。（ぐん、）

【第7節】 讃岐 3-2 岐阜

●クラブ史上初の5連勝ならず。四国スィープも達成できず。結果から言えば残念無念。あと一步。もうちょっと。しかし、内容的には納得できた。満足、と言っちゃいけないと思うが、少なくとも悲観する内容ではない。だいたい、あと一步とか、もうちょっと。そんな表現を何のてらいもなしに書いて投稿できる時が来るとは3月の初旬には、これっぽっちも考えられなかったよ（苦笑）。元より、四国は鬼門に近かった。未勝利無得点のニンスタはもちろん、鳴門もJ参入初年度の一勝のみ。讃岐との初アウェイでは能活の神セーブで辛くも逃げきったものの、半年前にはいいようにやられて記憶の中では苦い思い出しか浮かばない。それが、今季はニンスタでの初得点初勝利を無失点で飾り、鳴門では先制されての逆転勝利。勢い的には四国を全勝で締めくくれそうな雰囲気もあったが、そうは問屋も卸してくれない。やはり、讃岐と言えばセットプレー。しかも、最初の2点が和正のお膳立てとあっては、「また、おまえが。」「もう、恩返しは十分だ。」という気にもなる。一点目も二点目もゴールを決めた選手がノーマーク。ことに、二点目はファーサイドにどフリーの選手が二人もいたら、そりゃあ、のうりんおじさんもノーチャンスですよ。それを「触ったんだから、GKの責任。」と言い放つヨシナリは男前です。2点のビハインドを追いつくといった展開も久々のように感じるけれども、なおかつ、その追いついた流れも偶然や出会い頭ではなく、理詰め………とは言い過ぎかな？ でも、意図を込めた選手交替から、その意図を組んだ選手全員の一体感が成し遂げたもの。今までの、よくわからない（苦笑）二枚替えではなく、瀧谷をめぐらしてのロングボールと、パウロやレオミの突破力を生かして、自陣に閉じこもりかんぬきを掛けにかかった讃岐の守備に穴をうがちに行くという明確な戦術。それを徹底してのけた選手達。現地に参戦できなかった無念さを抱きつつ、スカパー！ 観戦していた自分は納得の拍手を贈ったのだけれども、敗戦という結果をしっかりと受け止め、悔しがっていたように見えた選手達を正直誇りに思う。まだまだな部分もあるけど、方向性や戦い方は継続していけばいい。決まりごとがなかったとしか思えない開幕後の二試

合と比べると、攻撃の時だけではなく、守備の時のプレッシングにも連動性や統一性が感じられる。そんな気がする。ホントに同じ人が指導してるのかい？ などとエラそうなことも書いてしまったりもする。ほんの一月ちょっとで、ずいぶんと気の持ち方も変わるもんだな（笑）。とはいえ、まだシーズンは始まったばかり。ここからが正念場。もっと、もっと成長してってください。まずは、隣のクラブに勝ちましょう！ あ、ブルーノに一言。デビュー以来二試合連続ゴールおめでとう！ 今日期待してます！！（ぐん、）

●クラブ史上初の5連勝が懸かったアウェイ・讃岐戦。とゆーか、1ヶ月かからずに四国アウェイ3試合が全部終わるって、どんな日程ですか…（苦笑）。5連勝に向けて選手たちの気合いも入っていたと思うけれど、しかし試合は序盤から苦しい展開に。相手のFKをゴール前で押し込まれて早々に失点。その後、反撃を試みる岐阜に対して、堅守を誇る讃岐の選手たちはしっかり引いて守り、ボールは持たせて貰えるけれど決定的な場面を作らせて貰えない。4連勝して研究されてきているのも原因かなと思うんだけど、キーマンの1人で今節は多めに配球を担当していた#28 泰輔にはマンマークぎみに付かれてしまうなど、効果的な攻撃できないままに前半終了。後半も劣勢の中で失点を許してしまい。「うわ、このまま讃岐は試合をクローズしてくるぞ…」と焦ったんだけど、そこでウチが2枚替え。そうすると、あれあれ不思議なことに、これまでカチカチに堅くて全く手が出せなかった讃岐の守備を崩せるように。こんなズバリ采配、見たこと無いんですが…どんな魔法を使ったんだろう（苦笑）。いやあ、サッカーってホント、バランス一つで簡単に変わる怖いスポーツですね（笑）。

迫力を増した岐阜が攻め立て、#29 ブルーノが2得点を奪って追いついて、さらに逆転すべく攻める岐阜。着実に勝ち点1を狙うこともできたと思うけれど、シーズン序盤かつ現在は順位も上にいるので、あくまで勝ち点3にこだわったのも納得。3点目が讃岐に入ってしまったのは残念だけれど、3失点ともウチがミスしてるし、相手が上手いゴールだった。若手選手には良い経験になったんじゃないかな。ちょっと高いけれど授業料と思うことにしたい。それに、負けるんならアウェイの方がいい。この悔しさをホームで晴らせばいい、僕はそう思う。それにしても、讃岐の#10 高木和正に2アシストを決められてしまった。彼が岐阜にいた時は、そのキックに何度も助けられたが…かつて岐阜に在籍していた選手が他チームでも活躍している姿を、直接対戦で見せつけられてしまうと、嬉しくもあり悔しくもあり…（苦笑）。ともかく、この敗戦で気持ちを引き締めなおして、このホーム戦では勝ちますよ！（ささたく）

●アウェイでの勝利を最後に目撃したのは、2年前の同じ丸亀の同じ讃岐戦。もともと、あまりアウェイ戦に行かないということもあるけれど、前回のアウェイ観戦は今年の『あの味スタのヴェルディ戦』。「お前、トラウマになっているな？」と言われても仕方がない（笑）。3/27のホーム・水戸戦。田森の負傷、田代の重傷。10人で必死に、しかししっかりとコンセプトを持って守りきった。次のアウェイ・徳島戦はテレビ観戦だったけど、先制はされたけれど『完勝』と言ってもいい内容で4連勝。J加入後初の5連勝に「期待するな」と言う方が無理だろう。しかし、試合は見事なまでに讃岐のペースで進んでいった。しかも、「古き良き『カマタマーレ』のサッカー」で、だ。先制したら中でギッチギチにブロックを作って守る。相手（岐阜）にサイド深くまで持たせても、決定的なパスを通されなければ構わない。まさに「北野穴熊困い」。讃岐の北野監督はすでに6年目、長い時間で培った「ここに戻ればいい」というスタイルがあることへの羨ましさを感じていた。岐阜の監督も3年目だけど、残念ながらそういう「戻れるポイント」はまだないからなあ（苦笑）。後半早々に2点目を入れられた時に

は、「こりゃアカンわ〜」という気分にもなった。しかし、将棋の“穴熊囲い”に攻略法があるように、讃岐の“北野穴熊”にも攻略法はある。それをキチンと具現化したのが、瀧谷とパウロの（ほぼ）同時投入。この妙手で“穴熊囲い”は確実に剥がれていった。同じ守備でも「自分たちがコントロールする守備」と「相手に対応させられる守備」で消耗度が大きく異なるのは当然のこと。ブルーノの2発で追いついたとき、讃岐の選手はほぼ脚が止まって動けなくなっていた。「勝てる！」と思った岐阜サポも多かったはず。ぼくもその一人。でも、こういう時にミスが出て相手が決定機をモノにするというシーンも、これまでのそこそこ長いサッカー観戦歴で何度も目にしている。そして、それが最後の最後に起きてしまった。ボールが渡った相手が、途中交代で入った「まだ動いている」木島良輔だったのは不運だったか。「恋とは少しのミスも見逃してはくれない」という歌詞を知ってるけれど、それはサッカーも同じ。瀧谷はサポーターに挨拶に来た時も相当にヘコんでいたけれど、彼にはイングランド・プレミアリーグでウィンブルドンFCが降格した時の監督のコメントを伝えたい。「人間が失敗したときにやるべきことは3つ。それを認め、そこから学び、2度と繰り返さないことだ」。選手は悔しかっただろう。ぼくももちろん悔しかった。でも、昨年の『あの味スタのヴェルディ戦』のような憤怒の激情もなかったし、今年の長良川で惨敗した札幌戦のような絶望や焦燥もなかった。負け試合を観たにも関わらず、心の中に“悔しさ”と同じかそれ以上の割合で存在したのは“満足感”だった。“北野穴熊”に適切な対策を打って相手の守備を剥がし、将棋で喩えれば“敵の王将”にあたる「相手ゴール」をハダカにして2点を奪って同点にした。「どうにも転びようがない」とさえ思えた試合を「どう転ぶかわからない」状態にまで持っていたのだ。

今号『岐大通』1ページ目の順位表を見ていただければわかるが、4連勝の相手は調子を落としているところばかり。「勝てるどころから勝っている」のはいいことだが、今後は上位や中位との戦いも増えていく。そう簡単に勝利を得ることは出来ないだろう。それでも、負けた試合を観て「今季のFC岐阜は“戦える”ようになった」と確信が得られたのだから、わざわざアウェーまで行った甲斐があるというものだ。ぼくのまわりの岐阜サポも同じような心境だったんじゃないだろうか。試合後に岐阜サポで丸亀名物の骨付鶏を堪能したのだが、あまりの盛り上がりっぷりに、もしかしたら店員さんは「今日の試合はどっちが勝ったんだらう？」と疑問に思ったかもしれない（笑）。

(吉田铸造)

【セカンド】 県予選、開幕！

●今年も4月の岐阜県・社会人サッカー界は全国社会人大会・天皇杯の県予選の季節です。FC岐阜セカンド（以下『セカンド』）は昨年は天皇杯の本大会でザスパクサツ群馬を破る快挙。セカンドがJリーグ勢に公式戦で勝ったのは初めてのはず。その大会で起きたジャイアント・キリングでは「最大カテゴリー差（セカンドの所属する「東海社会人1部」は“5部”になるので群馬とのカテゴリー差は3）」だったので、元日の決勝のハーフタイムで行われる『SURUGA I DREAM Award』ではセカンドの選手が選ばれるのでは？！と、決勝の浦和レッズ vs ガンバ大阪の試合にFC岐阜のマフラーを忍ばせて行きました。選ばれた瞬間にはマフラーを誇示しつつ「セカンドー、岐阜っ！」と叫ぶ気もマンマンだった（笑）んですが、同賞は町田ゼルビアの選手が受賞。町田はJ3所属ですが天皇杯は「東京都代表」での出場ですし、J1（名古屋）とJ2（福岡）に連勝ですからね。残念ですが納得です。さて、今年から県予選のレギュレーションに変更があります。これまで長い間、全国社会人大会の東海予選には岐阜県から2チームが出場していましたが、今年から3チームに増加。（静岡の枠が2つ減って岐阜と三重が1つずつ増えた）。これによ

り、準決勝の敗者同士の「3位（東海予選出場）決定戦」が行われることとなります。岐阜県サッカー選手権（天皇杯岐阜県予選）の社会人枠は2のままです。準決勝は勝たないと天皇杯への道は閉ざされてしまうのですが。セカンドは4/10の2回戦に勝利し、ベスト8まで勝ち上がっています。今日（4/17）準々決勝が行われており、勝ち上がれば4/24のメドウで準決勝です（これに勝てば天皇杯最終予選へ）。そして5月からはいよいよ東海社会人リーグの開幕です。今年は2部から上がってきた三重県の2チーム、ヴィアティン三重（三重県リーグ所属時代に天皇杯本大会でセレッソ大阪（当時J1）を延長戦まで追いつめて名を馳せた）と、元Jリーガーを擁するFC伊勢志摩の参戦で群雄割拠。FC刈谷や鈴鹿アンリミテッド（鈴鹿ランポーレが改称）も健在で、全国に9つある「地域リーグ1部」の中でも屈指の厳しさだと思います。しっかり戦い抜いてほしいですね。

(吉田铸造)

【ユース】 シーズンインです！

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は2016年度も昨年同様G1リーグに所属して1年間のリーグ戦を戦います。そして例年通りであれば春～夏にクラブユース選手権、秋にJユースカップに参戦すると思われます。監督は昔トップチームで選手として活躍、昨年度まではU-15を指導していた三田元選手にU-18を指導して頂く事になりました。4/9（土）に早速G1リーグの第1節岐阜工業戦がありましたので観戦してきました。試合は長良川球技メドウにて13時KO。まだシーズンが始まったばかりから、両チーム共にチームとしての練度は上がっていない感じでした。後半途中からは岐阜工業の時間が長かったけど、FC岐阜ユースのディフェンス陣も粘り強く守り抜き、0対0のスコアレスドローで試合終了。勝ち点を1ずつ分け合う事となりました。試合中気になったのはGKからの指示は良く出たけど、フィールドプレーヤー同士の声掛けが少なく感じられたこと。お互いにどンドン声出していった方が良いと思うよ。そしてこの日の試合で良かった点、反省点をしっかりと今後の試合に繋げていって欲しいと思います。

次の試合はG1リーグは5/5（木・祝）15時KOで笠松町の岐阜フットボールセンターにて第2節大垣工業戦の予定。一方のクラブユース選手権東海大会の1次リーグは4/17（日）12時半KOで豊田市柳川瀬公園の人工芝グラウンドにてホンダFCとの対戦の予定となっています。（ホンダFCのユースチームが復活しました！）今年も岐大通の場をお借りしてFC岐阜ユースの試合結果を報告して行きます。そして試合日程等もフォローしていきますので、予定が合えば是非彼らの応援に行っておいてください。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やクラブユース連盟、チームの公式サイトで必ず確認して下さい。

(シュナ)